特31
592
一四六本

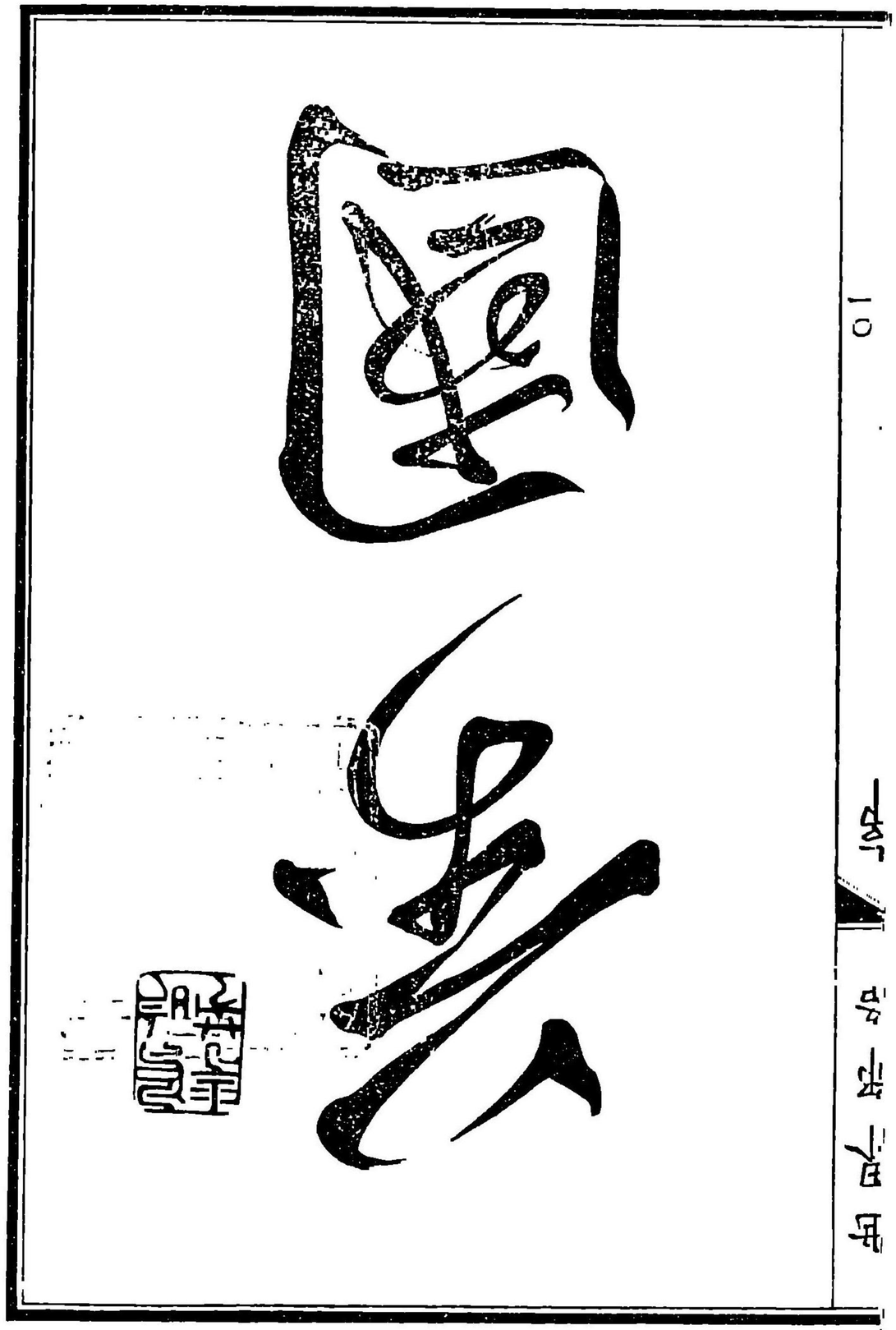
首書
贈入

世界都路

亜弗利加洲

二

四



特31
592

英国

風

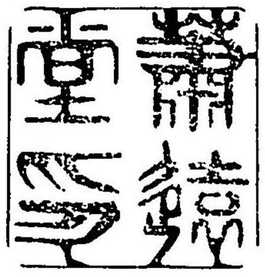
夏

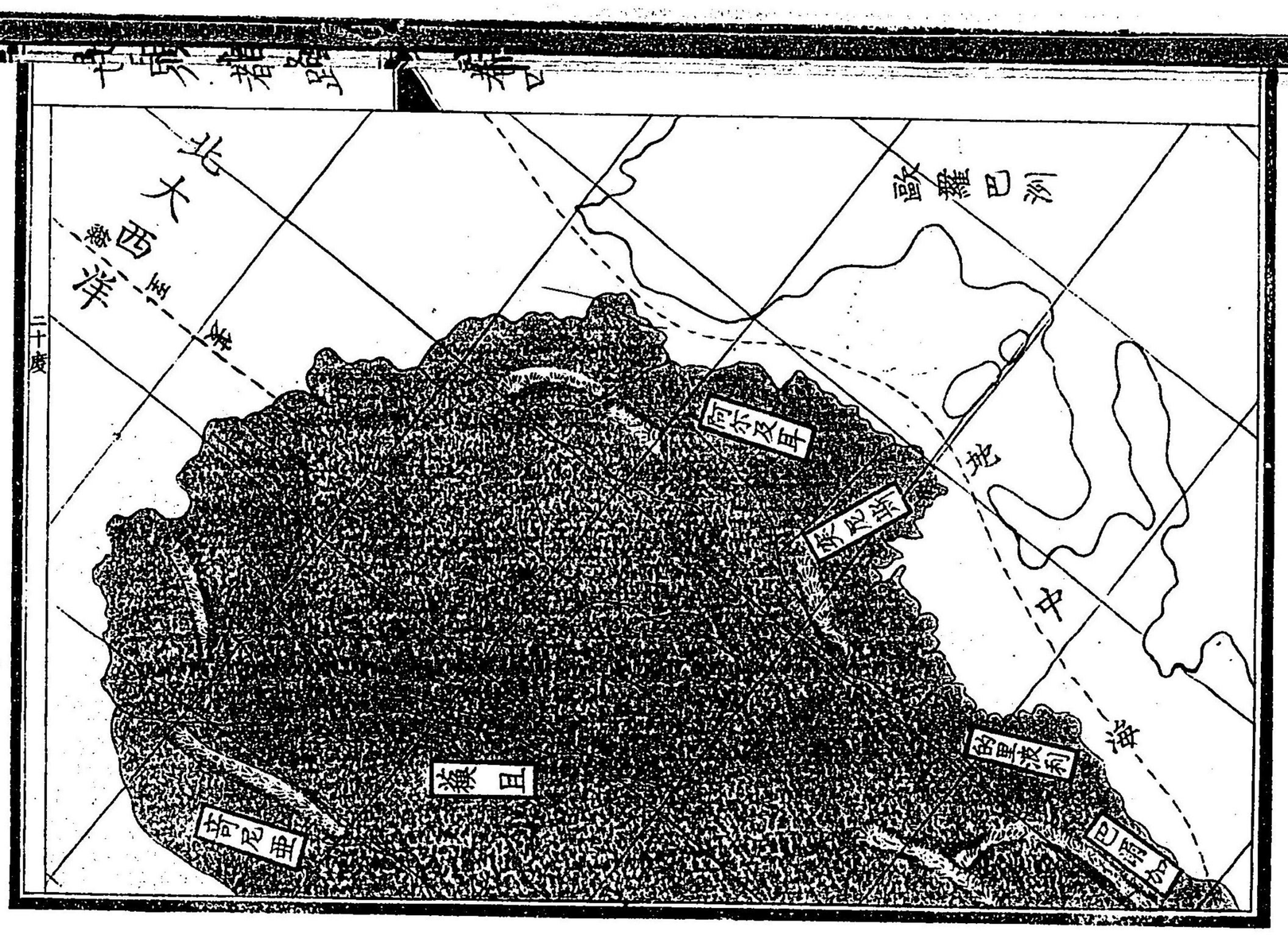
里非利士測量圖

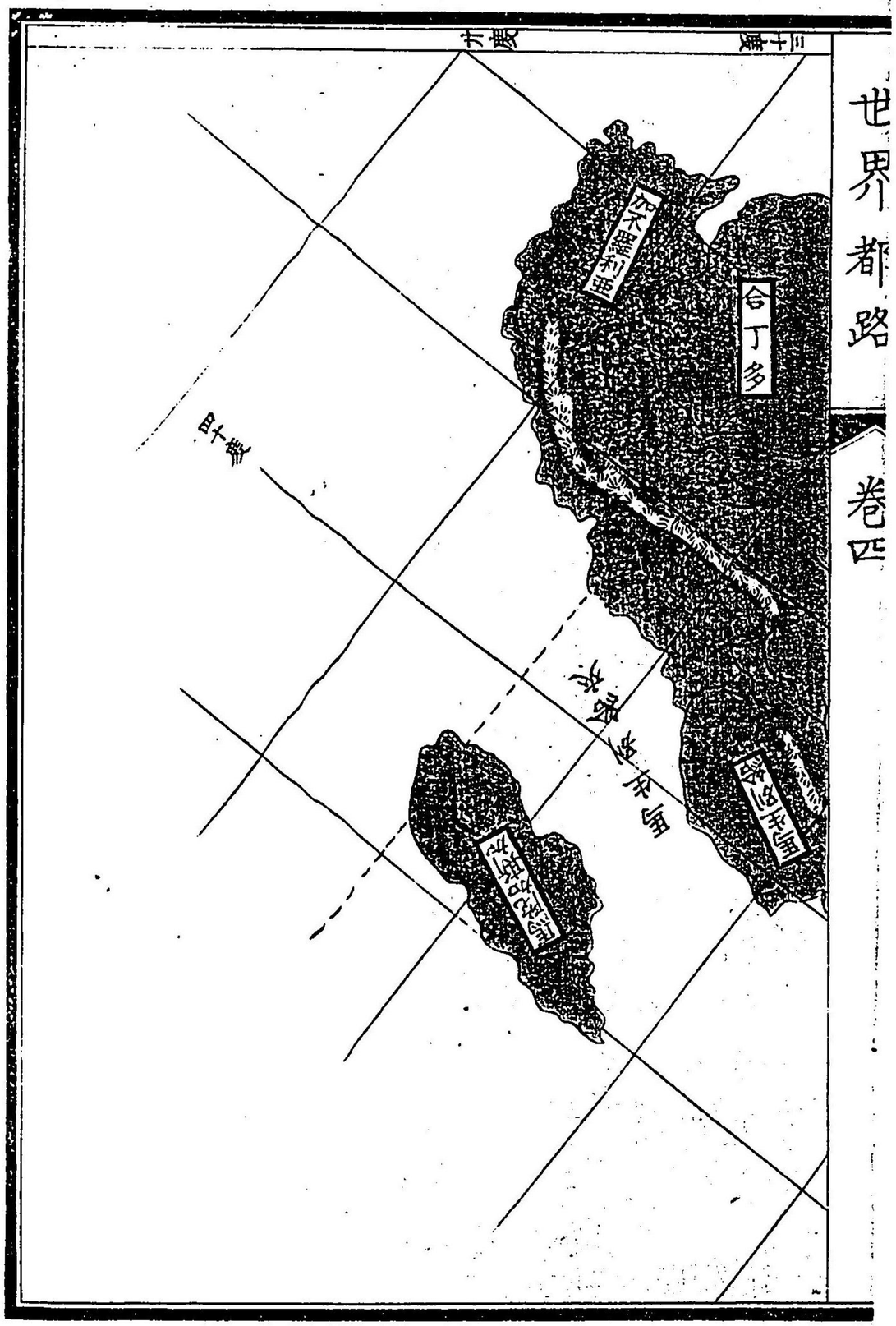
姜潭寬題

亞非利加洲全圖

美澤寬題




北大西洋
二十度
地中海
紅海
南大西洋
二十度



阿非利加の事

阿非利加又利未亜細亜の南極に在り其地の廣さ大約亜細亜三分の一ほーてを人の數六千一百萬余地へ廣しと雖沙漠平ら亦居り又赤道の南北ゟ當りて炎暑甚

阿非利加洲

阿非利加ハ地球の上ニ第三番ニ位して亜細亜ゟ大洋を隔て西南ニ當り赤道ゟ南北ニ跨がり土地ハ亜細亜ゟ小さく

だしく天時地氣人物他の大洲より劣れる其北の方なる国々夥しく土人皆黒夷にして其性多くは愚かなから中には歐羅巴人の種もあり洲の極北の民多く亜細亜洲の中亜拉比亜國人の後裔なる因り皆回教を奉ど其外國人の崇る所日月及び更に怪むべきは鳥獣

田地り通ふ海河の。
神よ人の救。
実教。
地球。
多寡。

目。
字義。
尊。
の他事。
例地の。

虫魚の類を崇めて之を拜する者あり又南より西の方ゐい英吉利米利堅の人西洋諸教を弘め勸るより之を信ずる者あり洲の中間ゐい曠野多く其北の大沙漠あり撒哈拉と名く洲の中ゐ

東洋数箇國を開化の域より猶遠し。

當今紅海地中海。

その一なの埃及多い。

大河二箇あり尼里河黒河と号く又高山一帯洲中東より西ゐ且り月山と云ふ産る獣白象獅猻犀牛獅子最多し其獅子能人を食ひ牛を食ふ又各種の大鳥大蛇あり

○埃及多い洲の東

阿弗利加。

當今歐洲未ひらもやざるの一の古ふるい。

多度文物気象

○せいきを降おうつて大全未。

北ハ在り紅海地中海ヨ臨ミ亜細亜の猶太國阿剌伯國と連り平地多く國の

世界都邑　巻四

中央ヲ大河あり尼羅と名く地ヲ上中下三土ヲ分ち共ヲ二十五部とし其都府ヲ諏禄と云ふ又地中海の濱邊ヨ別府あり亜拉散得と名く往古希臘國の馬基頓亜勒散得王の建る所あり則ち

世界都邑

巻四

埃及

埃及ハ亜弗利加洲の北ニ在り東ハ紅海地中海ヲ隔てゝ亜細亜ニ對し西ハ利比亜ニ接し南ハ阿比心尼亜ニ連り北ハ地中海ニ臨む其の管轄する國ハ埃及國ニ屬し其の國ハ埃及ニ貢ヲ

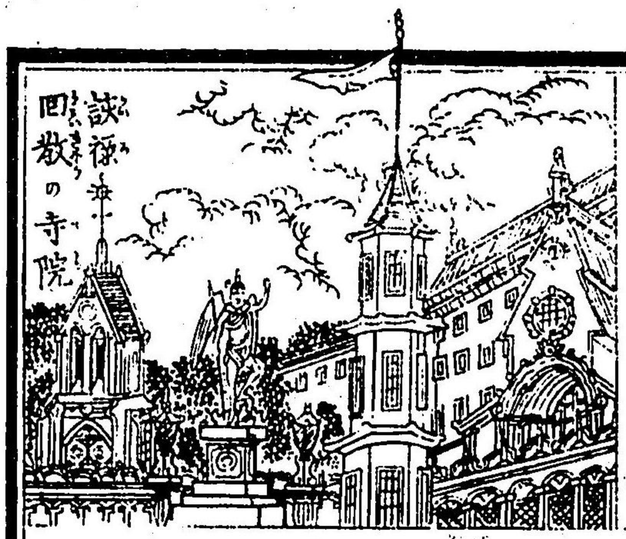
此国の旧都みーてを今ふ至つて著名の港あり其国民二百五十萬余都府ふ居る者三十余萬ふ下らぞ兵十二萬軍艦十二隻を収む麥西国と立る最古ー漢土（今云ふ支那）夏の代の初ふ在り

山の北ふ豊を沃ふ入て国内ふ縦横ふ田畑溝渠ひ弁しの便宜ふ富る者多し

其時の欧羅巴阿非利加の西土未開けざるゆ麥西獨り国と建制度文物皆其創る所ーて西洋諸国悉く之ふ倣ひ近隣の諸部咸臣服て国王と称を商の代の中葉より

海濱ふて草木深く南の方へ年毎ふ度ぞ出ふ

希臘諸國興りて
麥西の諸部を分
ち取るや周の赧
王の為ふ滅ぶ



あれ見よ地の属よそより洪
水のごとく来る民を。悦べり。
歴史ある我豊二年よ。
法王ローマの未世の事
を知らざる紀文の筆。

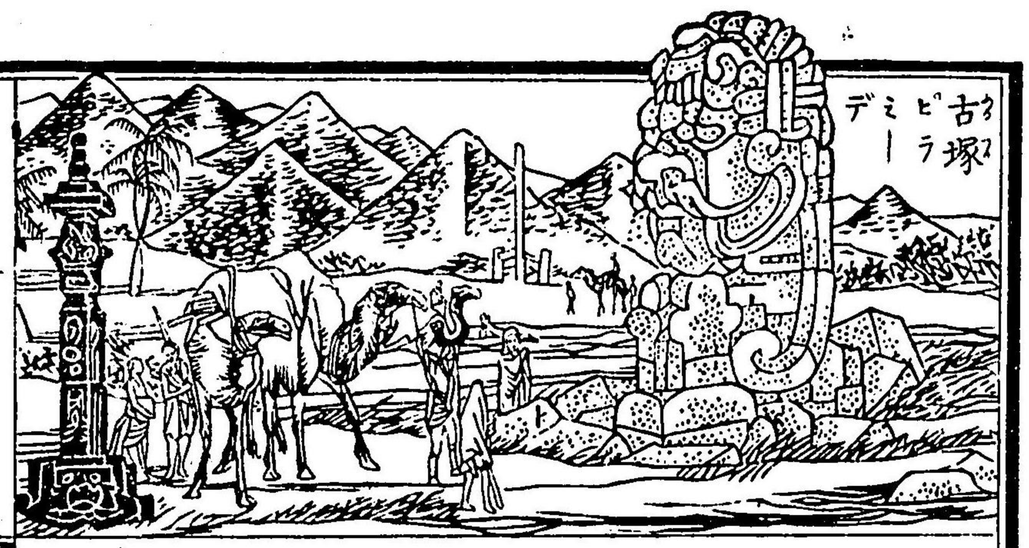
後復希臘の馬基
頓亜勒散得王の
取所となり西漢
の時意太里の羅
馬興り麥西を歸
降て属國となる數
百年の後唐の代
の初め阿剌伯其
地を取る是ゟ由
て回教の徒部落

もとより
来る。
額縦
教の暴。

を為せ明の代の初め土耳其攻取て別部と一是ぉ鎮臺と置く西洋紀元千八百年佛蘭西の大將拿破侖攻て之ぉ克三載と越て復其地土耳其ぉ歸く近年麥西の酋長

土耳其ぉ叛きて自立の国と爲一が英佛の和と勸むるも復貢とぉ土耳其ぉ通ト外藩の国とあり

埃及多の都府談禄の城下ぉ近き處ぉ最奇き古蹟の古塚



凡十餘丈。天井黄
金を以て造る。其基闊く頂きは尖
りて峯の如し。其大
ひなる者周り六十
丈高さも六十丈斗
り有り大小の塚六
十余あり。往古国王
の墓なりと云傳ふ
何の代ふ造る哥と
知らざると雖訣徳の
あり石を以て造る
其基闊く頂きは尖
りて峯の如し。其大
ひなる者周り六十
丈高さも六十丈斗
り有り大小の塚六
十余あり。往古国王
の墓なりと云傳ふ
何の代ふ造る哥と
知らざると雖訣徳の

梁巷の駅を
の名称。四面皆層
うちめぐり登りて
市衢を見渡すに一目
瞭然。實に世界
古塚の内なり。

ピラミーデとて世界の名高き古蹟あり又城内の四教の禮拜堂あり華美ある事目を驚かすに幷りの奇觀あり

亜歴散得の地は歐羅巴人と通商の別府にて最名高き港なり

府下一の寺觀

○府下第一の寺觀

里亜細亜の種士の北峡

○里亜細亜の種士の北峡

より地中海に至る凡車數仏

○より地中海に至る凡車數仏

道程百六十里あり

○道程百六十里あり

大港

○大港

に那古出そ古器

○に那古出そ古器

あれき

亜歴散得の古墳多

○亜歴散得の古墳多

の沢山あり

○の沢山あり

揚子江

○揚子江

の流れ

○の流れ

揚の流れ

○努皮亜い埃及多の南ホ在り當時其管轄を受く国の人氣あしく盗賊を以て生業とし旅人を剥劍又女子を勾引し隣國ホ賣渡し呼謂賣奴の弊風あり地と四部ホ分ち各酋長あり

○阿比西尼亜ハ努皮亜の南ニ在リ土人争闘殺戮ヲ掠ムルヲ好ミ野民ハ地ヲ堀リ穴住居ヲ常トシ虫けらヲ捕ヘ食トシ又ハ野獣ヲ得テハ其肉ヲ食ヒその腸ヲ身ニ纏ヒ觀美トモ國ヲ七部ニ分チテ各酋長アリ此国の土番古ヨリ部落ヲ為ス者ハ奉ズル所ノ教ハ

日曜日ハ有用界ノ事ヲ用ヒズ快樂ノ道ヲ通ヒ改ムル勉メ業ヲ骨ヲ休ムル。隣ル好皮亜ヲ。

人民美醜ノ風俗ハ。

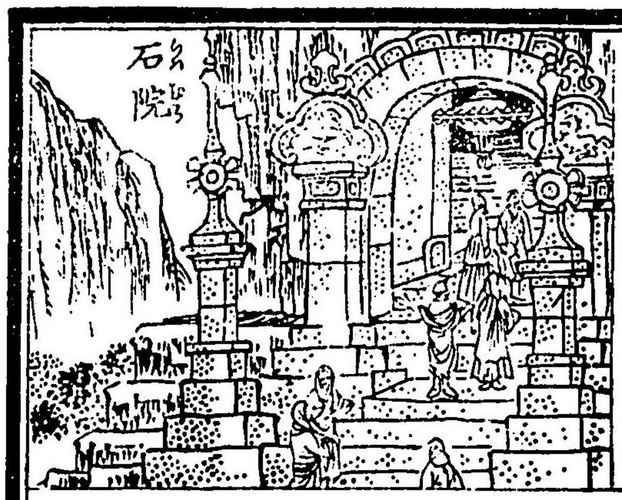
事跡ハ番ノ人雑リ実ニ奴ノ如キ者アリ。

酋長四方ニ紅唐縅ノ首

らも回教あるぞ。今お至つて上国と通せも治革考ふる呀ゐー相傳ふ其國舊くい王族皆高山の上ゐ聚り国人と交らも其逆意と防ぐが為あり位を嗣ぐ者有ゐ方り山を下ると許もこと有りーと云へり國民奉もる呀の教大規布臘教と同ーく猶太教ゐ相仍り徐継畬ゞ瀛環志略亜非利加の部ゐ波斯圖説を引ひて火祆教ありとも唐

府と。四郎ふ分ちて。四教の民い国随ひ乃ち。家の信ぞ賠ふ。混ひ。穀豊ど。関ふ。業よ代ふる羊牧ひ。

人大秦教と訛り傳ふ此教は波斯国より舊く奉ぜる所の者あり


石院

草擣の多き有りて。
む。健。
さ。
を。
造りたる奇なる工の

○桑給巴爾は亜非利加の東部に在り其西界は未だ詳ならず居民大約三四類に分つ其一は亜拉比亜國より来る者回教を奉ぜず其人民皆耕作を習ひ平和にして盗賊を為さず故に爭ひ殺し掠る事旧蹟多く今も存す。

止めたり。
亜波西尼亜。
公達爾。

常あり

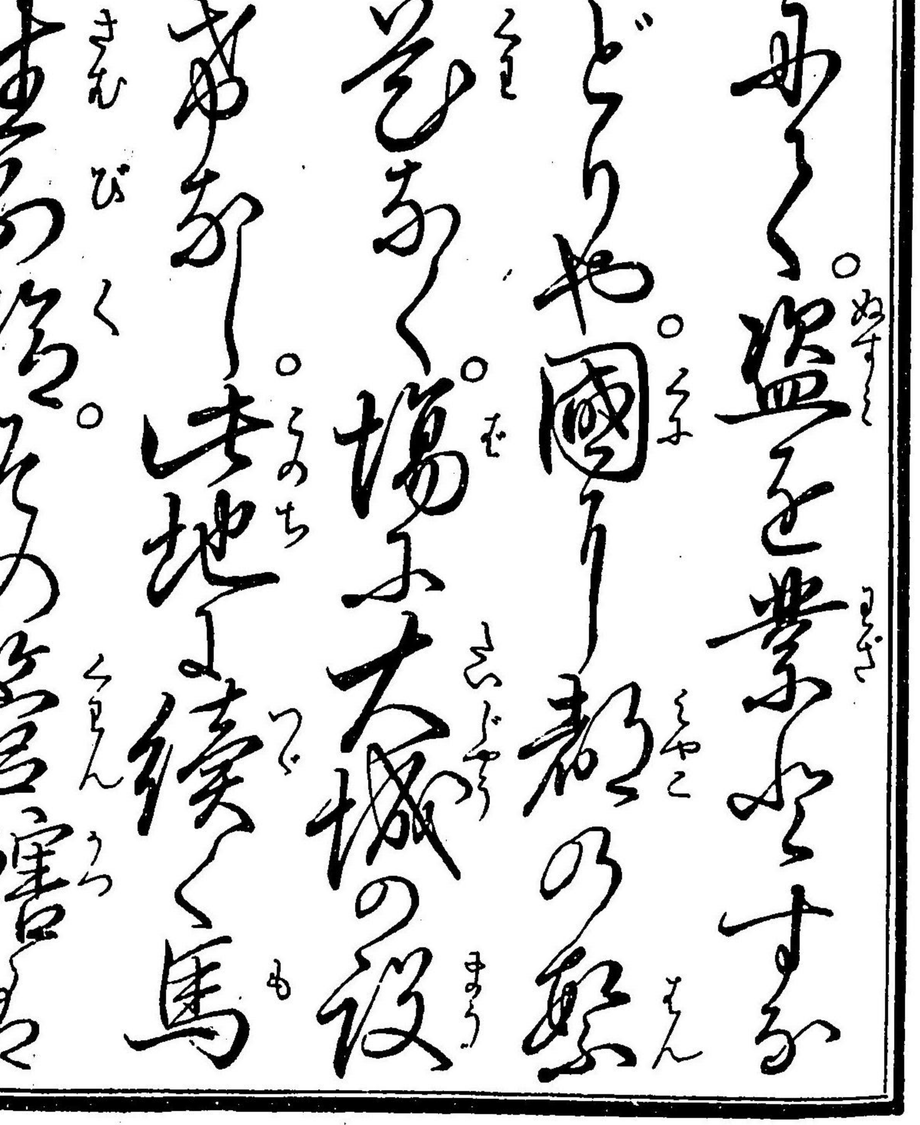
○馬生別給風俗桑給巴爾と同下葡萄牙の管轄あり近年葡国の勢ひ衰へ翼易盛んおらざる惟此国の黒坊を賣うを利と得らのを東洋各國の商舘みく用ゐる所の黒奴い皆

此地より販ひ来る殊ふ多しと云へり

僅ぶ五等みるぎざぞと悪き國ぞ。國を亡ぼす爭ひ教人の心も惡して。猛あらき獣を好と名の栄よ

其そうそうして其あら蛇の猛を倒す者ぞ。獅子の皇帝と称ふ。小首つんのまぞ迄く漁て海馬鰐

○馬特加斯捨ハ亜非利加海島數所の中ゆ最大ひろる者ホーて印度海東南の方ゆ在り馬生別給ゆ相逆！居民皆黒番ゆーて回教ゆ從ふ古へより別ゆ獨立ーて他ゆ屬せ佛蘭西掌て其地



を取んと謀りーう
ど得ゼ近來西洋諸
國と親睦て專ら開
化の域ゆ進まんと
と急勢とぜり
○專望峯東南ハ印度洋ゆ界ひ西ハ大西洋の北海ゆ界ひ俗ゆ大浪山ストルムカーフ
とゐふ一千六百五

え調ふる。全く夢の
のごとくである。
流れる。年深き田の
土も。音こそしづかに
物果ものびのびと考へる。

十年より荷蘭の管轄となりシーダ一千八百零六年より英吉利の属地となりし此地英人花旗人即亜米利支那印度へ合衆国通ふ商ひ船数月を経るの途中石炭食物等と貯へる所あり居民英人と蘭人

葡萄牙。象の多きこと。牛馬をはじめ生物。栴木の林。さまざまの鳥。獣。虫。蛇。

多一土人ハ皆黒番ホーテ身ノ材矮ク性極メテ愚ナリ

○加弗拉里亜ハ喜望峯ノ東北ノ方ニアル小国ナリ土人身ノ材高クカ強一曽テ英ノ伏スルトナク久一英人兵力ヲ以テ之ヲ征一ツイホ

北モ亦民ノ純キモノ。

富ヲ積ンデ以テ海ヲ渡ルノ度アルモ

ハ英ノ属スルヲ得タリ

○荷丁多的亜南ノ方喜望峯ハ接セル下等ノ国ニシテ黒民ノ愚ナルヿ極マリ国内蘭人ノ後裔アリテ耕作ヲ習ヘドモ土人ハ畜牧ヲ以テ業トセル地

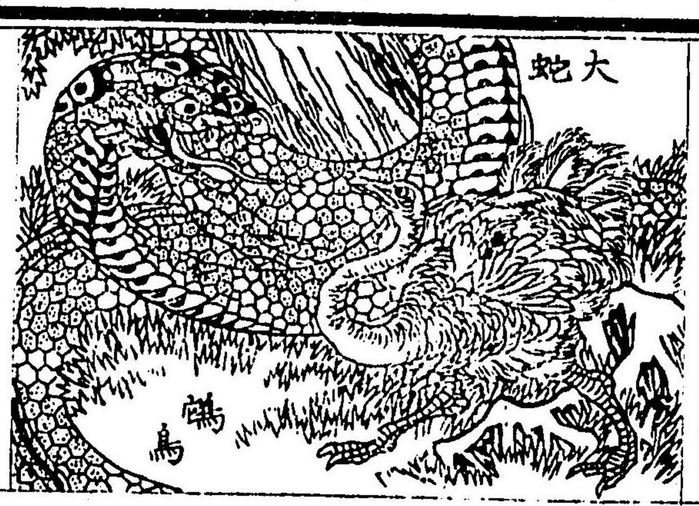
指ヲ獨立ノ建

方歐風ヲ學ビ

以テ英風ヲ改メ

ヲ固ク乱ノアル事ナク

乃後退テ近ヅカ



亦百種の異鳥毒虫悪蛇の類甚だ多く産せり

多く港口年衆盛なる
神を祈り生業を修る
者此地に至れば是より西
の音里絶て英吉利
領の大みなと盖比

○星卑巴亜ハ洲の南沙漠の中間片土亦在り獣類多く人少し黒人其住呼を定めず洲中亦さまざまの部落ひそ支那敦煌の如く度比へ通ふ。

○下奇尼亜ハ赤道の北ニ當りて炎気高く地勢東北少地和蘭

燃るが如く旅ゆく人喝きを死もする者あり黒民混沌無智の土俗のふーを賣奴と事とを常ゐ蟲魚禽獣を拜ーを神とを或ハ魚の骨犬の牙象の歯の如き皆奉ドてうまを拜を何の教ゐ縁やあらむべー

○上奇尼亜の教法下奇尼亜ゐ似るを其人心彼ゐ較ぶるに稍禮儀を知り諸事の務めを暁を上人民種類と分ち管轄ある酋長おく各自らと主とを近来花旗人此國ゐ来

拉里亜。ゐ地狭くを人の多くみづまでん長き大男。起てゐ智恵乃ち廻てらざるなし。世の後ろ庶ゐ。葬言利國の如く奴隷ゐ役令ゐ飢ぢるまでを。言びぬむ峰を過ぎ西す。遂てこでうの。ゐ外の内紳ぶ界ゐ

り學舘禮拜堂を開き土人を化導を以て事務とする者あり国は英吉利荷蘭

墨西哥。○府下多的亜米利加の土人。○ひとびと。

の属地ありて所々の砲臺の設けあり地は金砂象牙胡椒香物等を産し貿易

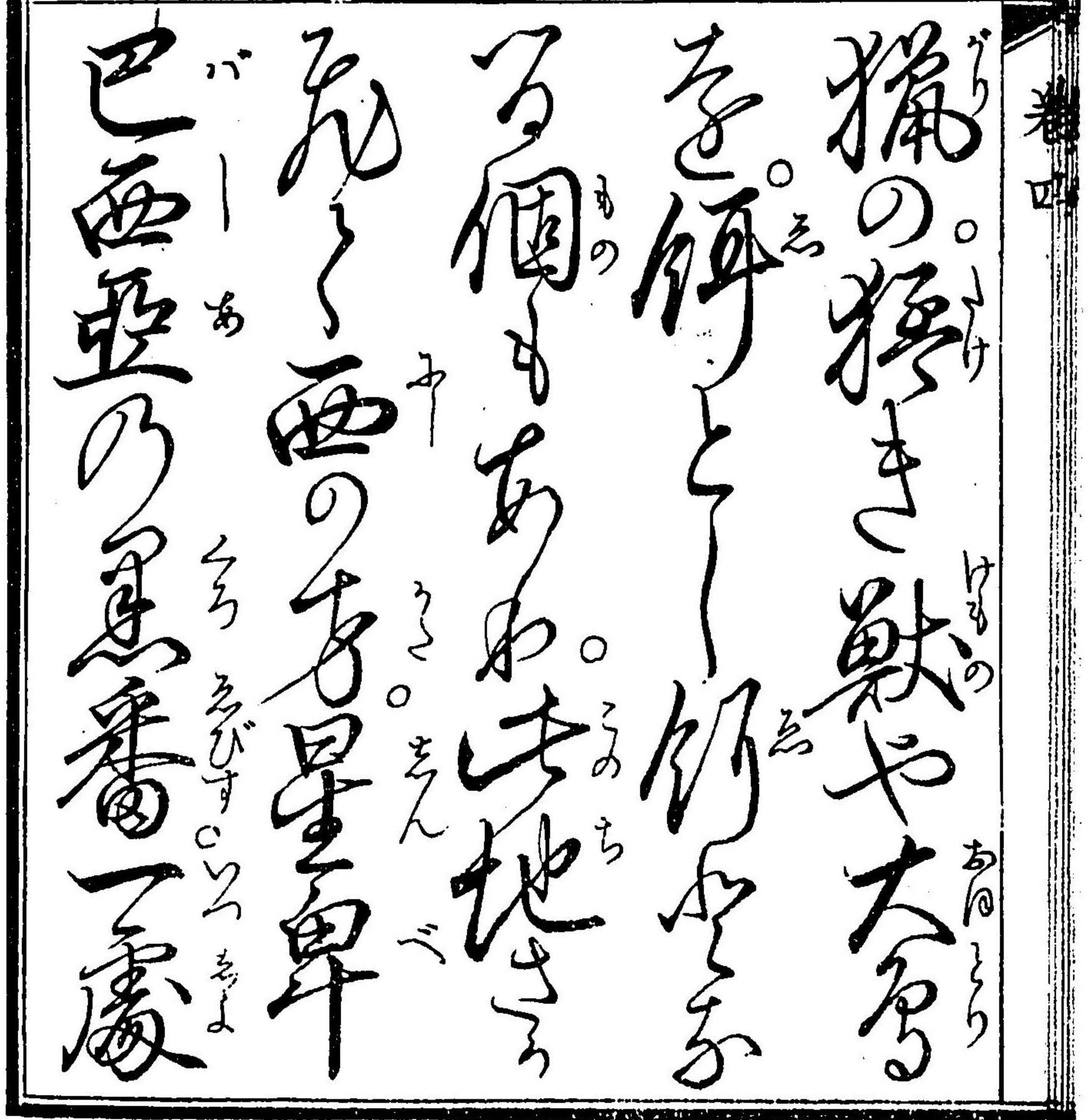
牛や羊の油よく。

常にふまざるを塗る。○耕すに鋤を用ゐず。

まのこ。○緑なる林せり。

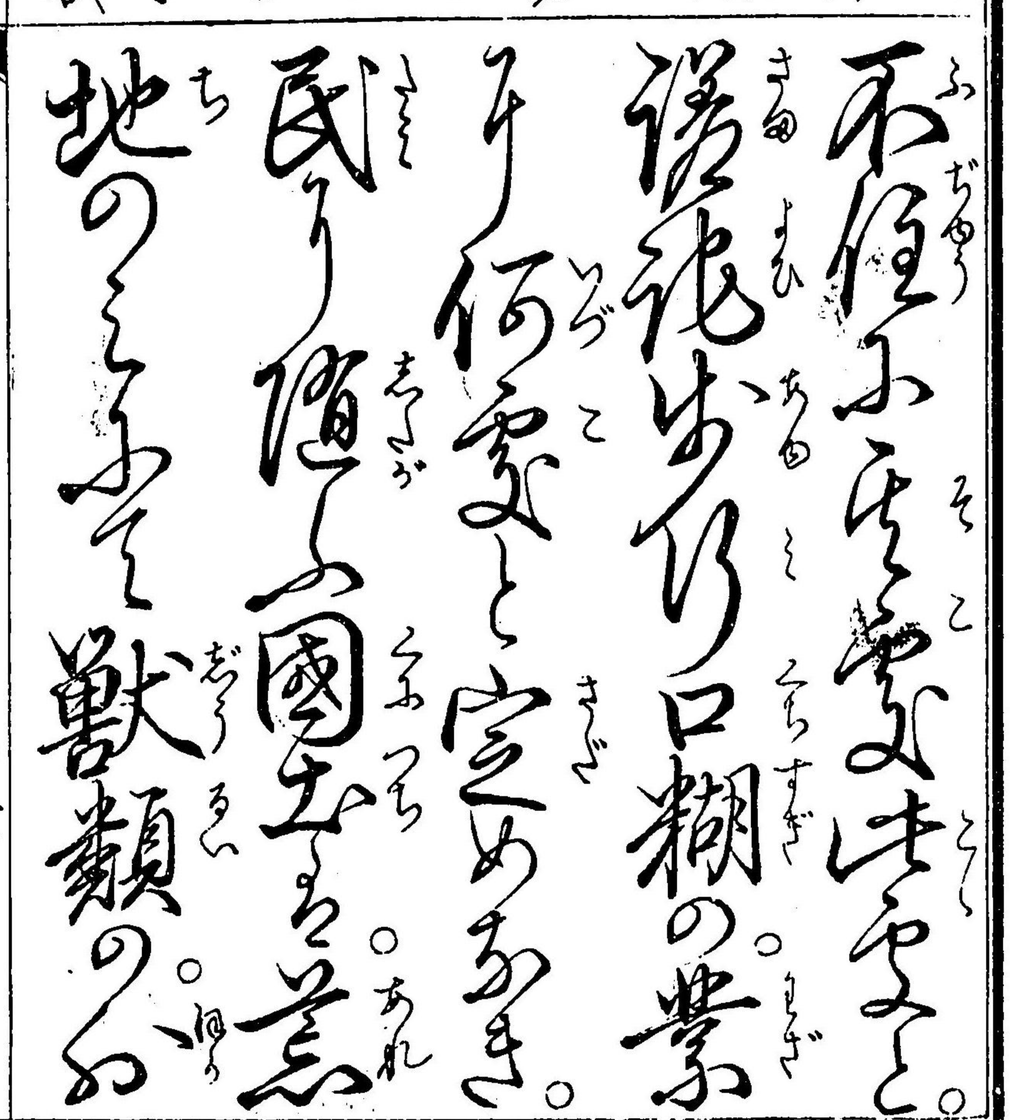
波や。○山や沼を。

極めて蕃んなり
国の西ふ一地あ
り里皮利亜と名
く花旗国の所属
あり其地の民多
く花旗国ふて放
ち呼の奴あり又
他国の船奴僕を
載ち人を賣んと
爲る者あるが花


猟の猛き獣や大魚
を。併て
多個も有ふ。
又一西の方星卑
巴西亜の星番一處

旗国の兵船也と
見つけて堅く禁
めて賣ざる其
奴を此地ふ放さ
しめて民とを現
今士農工商咸ゃ
備もり産物地ふ
較ぶるが最多し

○西尼降皮亜ハ奇
尼亜の西ふあり各


不便ふ
ざる
猛花
ふより
ず何
民り
地の
ふて
獣類の

自主の民ふーす国ふ管轄の酋長ろーま教法奇尼亜ふ似て偶々回教を奉ぜる

永き生地絶えて久し。
古都廃れど人往
の神ふ恬幕の客花。
仮寝ふ夢や結ぶ
らむ。奇尼亜國ふ

者あり国ふ英吉利佛蘭西葡萄牙の領地あり共ふ港を開きて貿易を專らとせる

国の西ふ一地あり細意拉里恩と云英吉利の呼属ほーて其民皆放ふ呼の奴あり又

下の紛。
敲く魚含も
髑髏。神と祀まる
奉拝ふ。鼓を呼
笛を吹。鏡ひて歌ひ

英国の兵船海口を巡りて他国の船奴僕を賣る者あるが必ず禁じて賣らしめず遂に此地に放ちめて民となる事大約里皮利亜と同じ英人地に禮拝堂を設け学舘を開きて民に誦讀し教へ事の理を知らしめて開化に導くこと信切なり

○蘇但國は亜非利加中央の地にある国々の惣名なり赤道の北八度より十六度に至る東は撒

奇尼亜の風俗を。下に較べて論ずべし。

少しく社会法もあり。

諸事の務も能成り。

米利堅人の倚て。

学校及び西教の行
わるるを開きて多し。
知覚人を異にし性質を異にする等出の里度
の盛なる人合衆國の
利亜を

哈拉の大沙漠より
亜皮西尼亜ふ並び
南上奇尼亜ふ界ひ
西ん西尼降皮亜ふ
界ひ北ん撒哈拉の
大漠ふ界ひ其民四
五類ふ分つ自ら主
とーを酋長と置く
の設けるー人性渕
内他国の人ふ較ぶ

所属なりと。○西尼降
皮亜ん英佛葡別
ち多ちて支配を
里。細意拉里恩ふ英
領ふ係る本地の港

きべ禮儀稼業を知まり常ふ好うを歌の唱跳舞ひ戯玩の道具装華ある衣服を悦ぶ者多し

阿非利加中土北の方ふ至るまで沙漠横且て風起るときい天地も分ぬかど沙と吹あげて昏暗くありて忽地其処彼處ふ堆高く沙の積りたるい山の如く天氣酷熱く水一滴もなく一枝の蔭もなし旅行人喝きて死し或い沙巻の大風ふ行斃となる

みぐ。民を教の道。

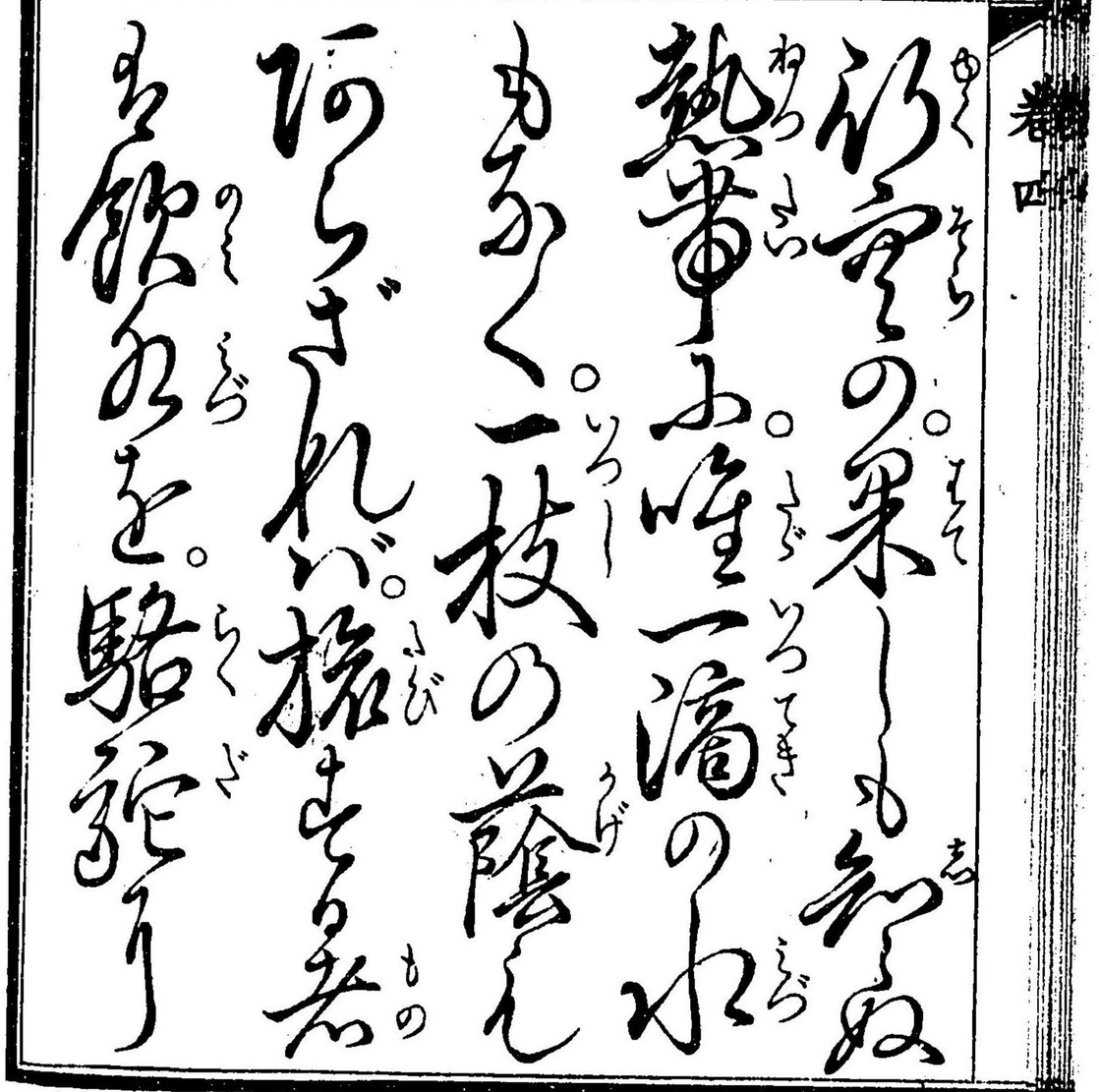
多音色。

期まで浮来よさでの。

阿非理加沙の中央へ。

北北方ふ往ける接哈拉の大沙漠。南亜蘇丹月山の赤。達巴拉。物産まき略り

者あり故ふ沙漠を渉る者い皆駱駝を用ひその脊ふ飲水を貯へ数日水なき地を過て渇き極まるべ駱駝を殺して其血を吸ひ或ハ其胃中ふある水を飲むを凌ぐといへり沙漠の中間ふハ水の流を草木の生たる地あり海中ふ島のあ



砂漠の果しも知れぬ熱砂の中ふ唯一滴の水。一枝の蔭もなく二枝の蔭もなく。照り付けられ。招きする者もなく。駱駝を。駱駝の糞を飲めるの

駕をそそいですぐるとき。其中程ふあるよわ。偶水草ふある土地ふ。回部たる奉ぜ偏回舎。哥爾多番や達爾

ろが如し又沙漠の東ゟ回教の地あり一ゟ哥尓多番一ゟ達尓夫耳と名く南ゟ方り沙漠を尽して波数国あり總名尼給里西亜と云ふ則ち蘇但是あり地と二十二部ゟ

夫耳。○漠その南ゟ絡里西亜。○一ゟ名くる蘇丹。○東ゟ西沙漠り界して赤道ゟ焼ゃ

分つ諸部各酋長ありて互ひゟ攻め撃ち併とをが其者を奴僕とす。

○哥尓多番り努北亜の西南ゟあり北の境ひ沙漠環を繞らし南の山々り鋸の歯の如く火山あ

されば多く他ゟより。○瘴癘を病ゟ死せざる人なく。○地勢吉利人て土國り。

りて煙りを吐き地気炎熱堪がたく巴勒拉比亜と云る大河ありて国中を貫く両岸田地ゐ沃りてうのよし

○達尓夫耳ハコルドファンの西ゆ有り居民回教を奉ゐ土人農功を重んを

毎年国王諸部の酋長を卒して躬耕し民ふ農業を勤む此ん土ふ此禮あるゐ

四地を探る策

ありぞ。味地

二部。諸

あり。そを

ら往

女のこ。

樂を。

戯る

庭の

り和

男を逸楽

好こて歌舞ふ

黒暗昼暴

行ひのこと多

況大海附属乃

又異事とのふべし
都府を哥卑と云国王を尓發捨耳と云別府を在都會を賀勿盛んなるを遮境を至りて盗賊追剥の類多く故を旅商人を隊を組び数多の駱駝を引きて行き宿る時を野の陣を張るが如し

○聖赫里那洲外群島の一と大西洋の海中を在りて星卑巴西亞を近し英吉利の領今を一て近き島々を皆之を属ふ千八百十五年佛蘭西の簒帝拿破侖一ら世英兵の為を擒

嗚の中。聖赫里那と
哥てい。英吉利領
尓名。佛蘭西簒帝
一世拿破倫配流
古跡。

通ふ西北洋。拿利
馬地拉。亞墨利駕嗚。
地中海峽の西北端。
南撒哈拉北大漠尓。
之れ北隣る摩

拉亭土耳古の都府にして國の名亦同じ。洲内各三の帝國なり。諸國を歴聘して威権の君主政偶生ずる事なし。民の漫者を大切

とあり此嶋へ流さるゝ嶋の名世ゝ聞へたり

阿非利加群島

○馬蘇阿島

紅海の中に在り

洲北阿比西尼亜

ゝ附く

○幾羅阿島

○蒙非亜島

五千人過ぎ衛若邑の村。民を頭を乃搗沙り埋免を拜礼則ふそもく徒乃。急ち罪を免を

○桑西巴爾島
○奔巴島
○索哥德拉島
紅海の外印度海中に在り
○馬達加斯加爾嶋
馬地拉と名く印度海東南の方莫三鼻給に近し亜非利加群島の大ひなる者あり
○毛里西亜島英吉属
馬達加斯加尓の東に小島四十餘皆近く属をなす
○不尓奔嶋佛國属
毛里西亜の東にあり
○聖赫里那嶋英吉属
一ぬ三達厄勒那

里。よりて見るに下ざる。仏賊きを以て。豊を。紅海の外印度海中に在り。
○馬達加斯加爾嶋
馬地拉と名く印度海東南の方莫三鼻給に近し亜非利加群島の大ひなる者あり

きび。細犯する土地の豊饒。
候を。示して田畑の高稼。
ありて。この地方を。丹糸利
る西亜牙國を對ふ

とも云前ゐ記を

○桑多美島葡国属

○緑山頭群島

其内三島ゐ分つ

塞内岡比亜の西ゐあり

○加拿列斯群島

共ゐ二十餘島有り摩洛哥の西ゐ在り西班属

渡東洋亜細亜の東部を通過する航海の患ひとある

耳。近古まで牧畜の羊毛絨毯。油絨の類を業とし地中海ある

民ら。通船の便よつて亜米利加の諸国と交易

○修達島属

地中海直布羅陀海門の内ゐ在り

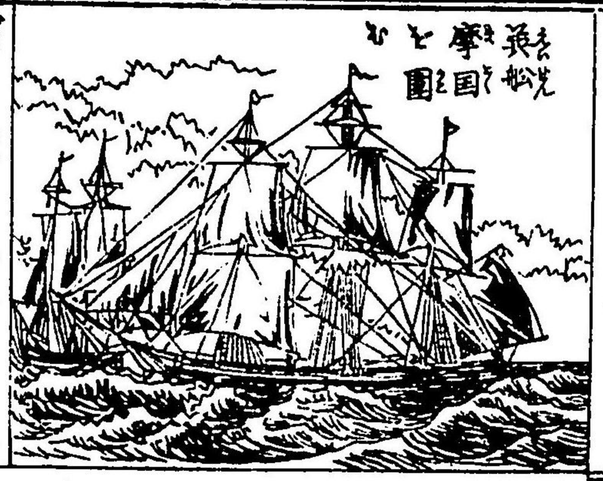
○摩洛哥国ゐ阿ふ

賛の西ゐ在り居民六百萬皆紅帽子を冠り回教を奉ぜ舊阿剌伯ゐ属せ後ゐ獨立国とあり現今帝國と称せ人民盛

多くそれら美佛米北三箇國を航して毛皮を

さそ征せその後ゐ佛蘭西

西渡らん大兵を率て



職を好と他国の人を擄へて強て回教に入ら令給ざらむ奴とーて役ひ

或い彼他国ゟ責る英佛の両国の人擄らるゝ者数千あり両國の兵船此国を攻て其都城を圍む ゟ国王震恐を擄らるゝ者を釋て両国ゟ託稍ゟーて安堵るを得たり此国王權貴く重き事

沙漠の田族を盜ぐ

ざる後の散やすく育

腰ぼ地味乃甲斐なき

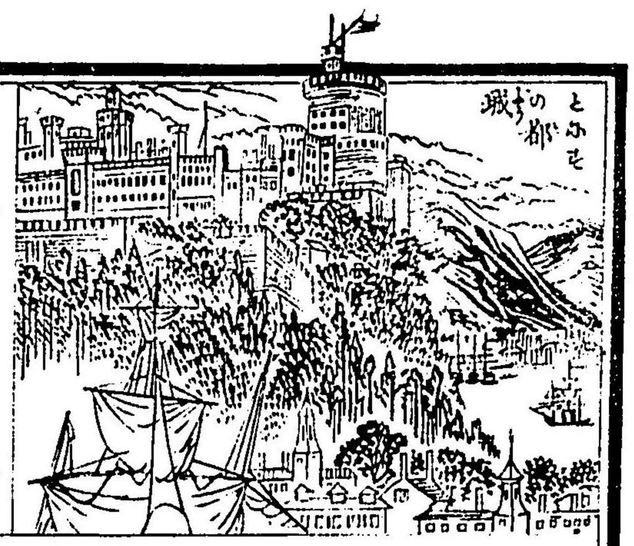
きる農民稀の故

あしき。新郡のゟ

洲内各國ヲ比セベき地ナー

○亜尓及耳アルゲリーと云突尼斯の西ヨリ舊土耳其ノ屬ー今佛蘭西の藩部とあるう其地戸口三百萬餘ク七部ヨ分つ

○突尼斯ハ的利波



都城

里の西ヨあり地勢平坦ふーて土潤ひ人口三百萬民安き居国ヨ盗賊ナー

藩ク一

突尼斯ハ北ヨ地勢さ出ー突尼斯ヨ多平ニ沙磧の雑生でて河の傍ヨ音腴の土ふよくみのる民の起臥安らふ他洲

土耳其藩部ヲ屬セ
○的黎波里ハ麥西
ノ西ニ在リ土耳其
ヲ屬セ地昼暑ク夜
ハ寒シ人氣他ニ掠
ムルヨリ隣境ヒヲ
患ヒヲ都城ヲ海
濱ニ建府ヲ特カ波
里ト称ス二ヲ巴尔
加三ヲ非三四ヲ亜

他ニ交易ヲ侵
掠ヲ受ルヲ免レ
部ノ中ニ善ヲ西
土耳其ノ管轄ヲ受テ
洋人ヲ移シテ生園

達羨共ニ四部ヲ合
ス
阿非利加全土ハ
其地気重ク濁リ
其人愚ニシテ千
萬年ヲ歴ルト雖
猶上古ノ如ク風
俗自ラ開ケ事敏
ヲ歐羅巴諸国ノ
人好ンテ新地ヲ

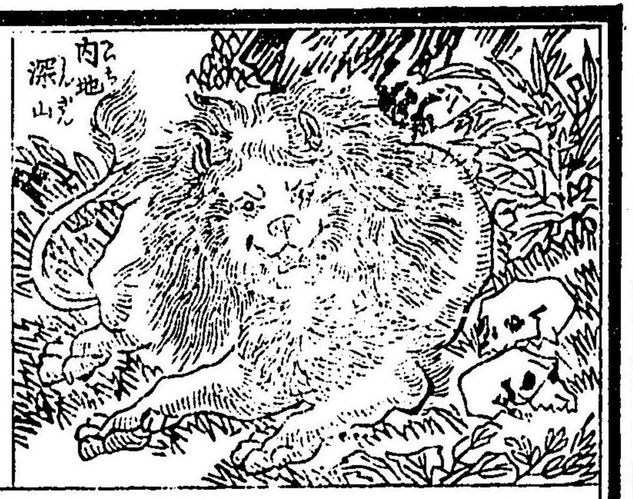
「的黒幾亜」「達拉幾斯」
ヲ。兩部ヲ合テ一王ト。
代ヲ。無統ニ拘ラ
ず。氏ノ推擧ヲ待ヒ
て。嗣ヲ定ムル例

土地おおむね北位を東とし的黎地方は波里。これもとる土地四郎方は屬ひ。土地沙漠の砂多きゆえ。

尋ね大船に乗て四海を周亜非利加洲の海邊の縁り僅の國の業を創むると雖も深く内地に入りて山川の昏く濁るを開き一洗ふると跋いぞ蓋し故あり此洲中間

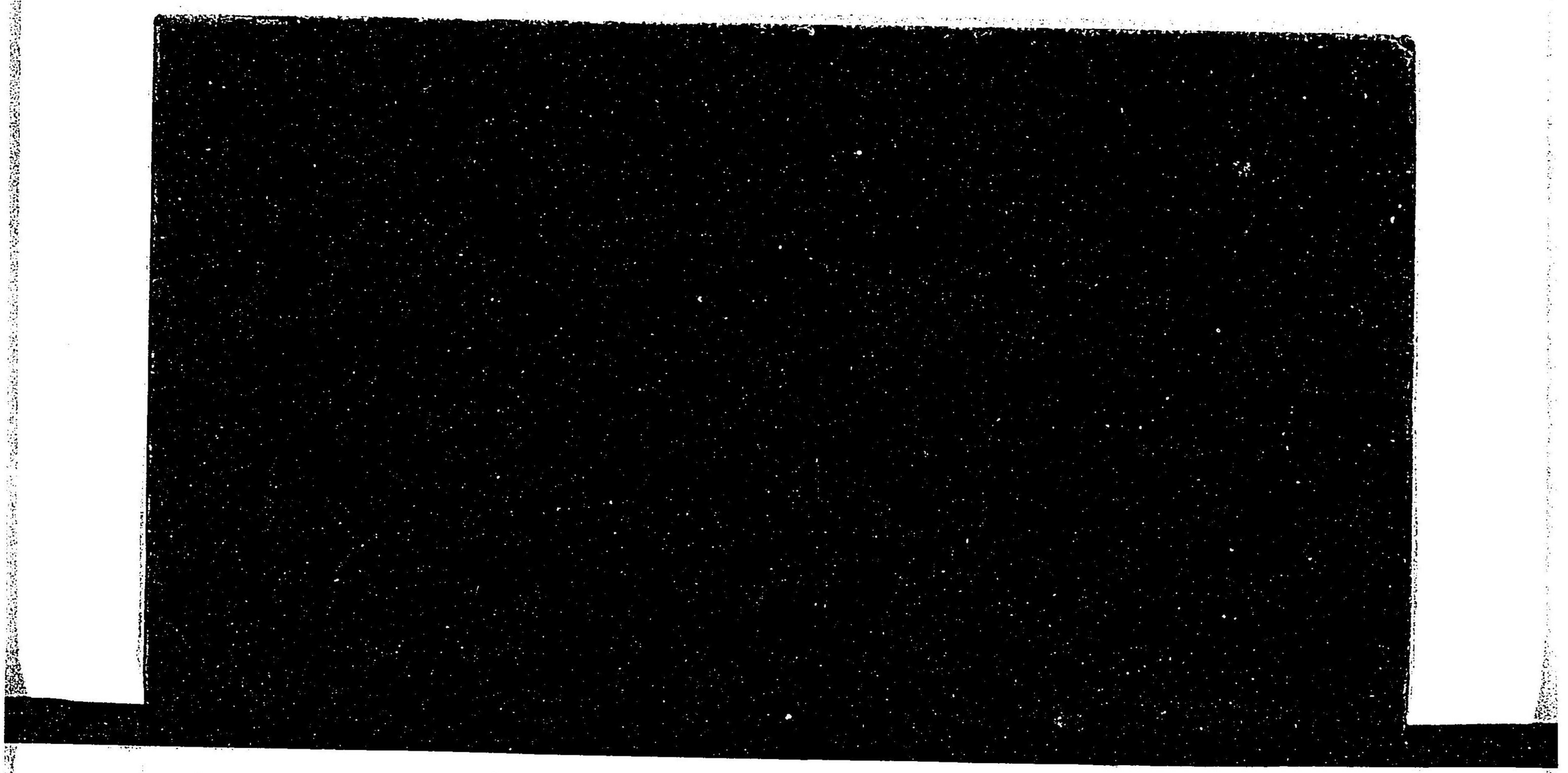
生ずる民もの多く元主あり耕して駱駝を乗り諸部落に隊を組陽り捜ひ求むる業井世廿五。

い赤道の當り其南北も赤道を去ること遠からざる炎暑酷烈しく瘴癘尤も多く其地は生長もる者あらざるが殆ど堪がたし他洲の人此土を足を入るゝ者多くれ死



も北土亜細亜と接し連る東西両内海紅海地中海蒙々ゆ船泊りの地あり

を尋ぬるまゝ其名を都直波里海濱の地。きを。ぬ。大解地。あらまほし四方。

地へ沙磧と雖東の方ふ早く地を擇て居る民多し其東西南の三面地平ふして海と齊く凹みし北方旱路を徃べ平沙数千里海を渉るまりへ尤難渋るまりと云へり

そこで埃及王。
久く帰るを待ち兼ね。
和義羅の勧めに
面会らわ森